

所属

氏名

### カジノ概要

# 日本人客は現金限定

## 有識者会議 入場回数も制限

カジノを含む統合型リゾート（IR）設置に向けた制度案を検討する政府の有識者会議「IR推進会議」（議長＝山内弘隆・一橋大教授）は31日、制度の概要を取りまとめた。日本人利用客向けに、①マイナンバーカード提示を義務付ける②入場回数を制限する③チップ購入は現金に限る――など厳しい規制を設けることとなる。日本入国とが特色で、1日にIR推進本部（本部長＝安倍首相）に報告する。

政府は報告を踏まえて具体的な制度設計を詰め、秋の臨時国会にIR実施法案を提出したい考えだ。東京五輪・パラリンピック後の成長戦略の柱として2020年代前半のIR開業を目指す。

概要によると、ギャンブル依存症について「入場回数が多くなるにつれてリスクが大きくなる」として、月単位や週単位で入場回数の上限を設ける。日本人利用客はICチップが埋め込まれたマイナンバーカードで本人確認を行う。内閣府の外局「カジノ管理委員会」が入場回数を管理し、IR業者の照会に応じる。

外国人旅行者と異なり、日本人利用客にはクレジットカードでのチップ購入は認めない。資力に応じた利用を徹底する狙いがある。一方、シンガポールのカジノでは、自国民でもクレジットカードを使って使える場合がある。

IR事業者は「公共政策的な機能の一環を担う」と位置付けた。カジノ管理委員会が子会社や株主を含めた関係者の交友関係や借金の有無などを調べ、反社会的勢力の関わりがない事業者に限って免許を与える。

〈関連記事4面〉

### 「カジノ」概要

# 依存症対策 政府が腐心

今回まとまったカジノを含む統合型リゾート（IR）の制度概要は、「世界最高水準のカジノ規制」を打ち出した。カジノ解禁にはギャンブル依存症や治安悪化への懸念が根強く、世論の理解が進んでいないことに配慮したためだ。政府はIRを成長戦略の起爆剤としたい考えだが、与党にも慎重論があるカジノの具体的な制度設計は難航しそうだ。〈本文記事1面〉

「諸外国のカジノ制度と比べて全く遜色のない、きめ細やかな規制だ」  
制度概要をまとめたIR推進会議の山内弘隆議長は31日の会合で、そう胸を張ると見る。

制度概要では、国内有数の国際会議場や劇場、ホテルなどの集約をIR認定の条件とする一方、カジノの面積には上限を設け、「単なるカジノ解禁ではない」と

明記した。地域振興や観光産業の発展に主眼を置くことを強調する狙いがある。規制の具体策には、課題も指摘されている。入場時に提示を義務付けるマイナンバーカードの普及率は1割未満にとどまっており、推進会議内にも「現実的ではない」との声がある。事業者から反社会的勢力を排除するために国が行う調査についても、国内にはノウハウがない。

政府は、パチンコや競馬などの依存症対策も8月をめどにまとめる方針だ。ギャンブル依存症への懸念を払拭した上で、秋の臨時国会でのIR実施法案の成立を目指す。

(2017年8月1日 読売新聞朝刊より)

◆朝刊1面(右)と4面(左)の記事です。政府の有識者会議がカジノを含む統合型リゾート(IR)の制度概要を取りまとめました。政府はIRを成長戦略の起爆剤としたいようですが、ギャンブル依存症の問題や治安の悪化への懸念が根強く、与党内でも慎重論があり、実現までには紆余曲折が予想されます。

【問】2つの記事は、政府が成長戦略の柱として開業を目指す統合型リゾート(IR)について、有識者会議がまとめた概要に関するものです。カジノ解禁を目玉とするもので賛否両論がありますが、統合型リゾートについて、あなたはどのように考えますか。400字以内で書いてください。